

集会

ディアブロキャニオン原発周辺事情

～老朽原発の稼働延長と廃炉後の核ゴミの未来～

オンラインの参加も可能!

日時

2024年9月24日(火)

【開会】13:00～

会場

衆議院第二議員会館 地下 第一会議室

(東京都千代田区永田町2丁目1-2)

会館ロビー入口で荷物検査後、「入館証」を受け取り入場してください。

会場用
配布資料
500円

札幌会場

【パブリックビューイング】エルプラザ 2F 環境研修室

(札幌市北区北8条西3丁目)

第1部 基調講演 講師 キャロル久末さん

2024年廃炉予定だった ディアブロキャニオン原発が稼働延長に?!

- 裁判原告でもある Mothers for Peace の活動と訴訟
- ディアブロキャニオン原発が稼働期間延長となった経緯
- 廃炉後の使用済み核燃料の未来

キャロル久末さんプロフィール

東京でFMラジオ、テレビなどのパーソナリティ、ナレーター、コメンテーター、映像プロデューサー、ライターなどに携わる。2006年から主にサンルイスオビスポ・カウンティの牧場で自給自足の生活を求め始めるが、福島第一原発の事故以降、地元をはじめ、カリフォルニア、日本の脱原発、反核運動の活動家に。現在はマザーズ・フォー・ピースの役員として講演、イベント企画実行などと共にスポークスパーソンの役割も。

第2部 鼎談

キャロル久末 (講師/現地住民/原告法人メンバー)

市川 守弘 (当会共同代表/前弁護士長/弁護士)

マシオン恵美香 (当会 核ゴミ問題担当世話人/進行)

ZOOM
申込み

Zoomによるオンライン参加を希望の方は、下記のID、パスコードを利用ください。

ミーティング ID:812 1547 6189

パスコード:052694

また、お気持ちでカンパ金のお振込みを期待しております。

お振込み先

郵便振替口座 記号番号
02790-1-100850
泊原発の廃炉をめざす会

連絡先

泊原発の廃炉をめざす会

札幌市北区北8条西6丁目2-23-806 TEL011-594-8454

担当者:090-7510-9361(間谷) 月曜日・水曜日 10:00～13:00

(メールアドレス) info@tomari816.com (URL) https://tomari816.com

Mail



URL



Mothers for Peace

San Luis Obispo



1973年以来、ディアブロの安全性問題に法的介入してきた、核のない未来のための地元の活動家たちの団体です。

「平和のための母たち」は、ディアブロ・キャニオンやその他の原子炉、核兵器、放射性廃棄物がもたらす危険性に関心のある非営利団体です。さらに、この組織は、平和、環境および社会正義、再生可能エネルギーの推進に取り組んでいます。

ディアブロ・キャニオン原子力発電所は、所有者であるパシフィック・ガス・アンド・エレクトリック・カンパニー(PG&E)、労働団体、消費者擁護団体、環境団体との間の2016年の共同合意により、2024年と2025年に廃止される予定でした。しかし、昨年は、ニューサム知事のエネルギーが必要だという主張に基づき、これらの閉鎖日を超えて事業を延長する動きが出てきました。

サンルイスオビスポの平和のための母たちは、カリフォルニア州が安全で信頼性の高い、すべて再生可能エネルギーのポートフォリオに向けた動きを加速させる必要があるときに、ディアブロのライセンスの延長がまさに間違ったことである理由を規制当局と一般の人々に示すために懸命に取り組んでいます。

マザーズ・フォー・ピース(Mothers for Peace) <https://mothersforpeace.org>

ドネーション窓口 <https://mothersforpeace.org/donate/>

市川守弘プロフィール

中央大学法学部卒。1988年札幌弁護士会登録。現在、旭川弁護士会所属。アメリカのコロラド大学ロースクールで、自然資源法、アメリカインディアン法を専攻。泊原発廃炉訴訟元弁護団長「泊原発の廃炉をめざす会」共同代表。日本環境法律家連理事。日本森林生態系保護ネットワーク事務局長。主な論文・著書に Understanding the Fishing Rights of the Ainu of Japan(2001)、『アメリカインディアン法の生成と発展・アイヌ法確立の視座として』(第一法規、2003)、『アイヌ人骨返還を巡るアイヌ先住権について』(『法の科学』45号、2014)、『アイヌの法的地位と国の不正義—遺骨返還問題とくアメリカインディアン法から考えるくアイヌ先住権』(寿郎社、2019)、『アイヌの権利とは何か—新法・象徴空間・東京五輪と先住民族』(かもがわ出版、2020)等

マシオン恵美香プロフィール

画家・美術講師、アトリエ・アリス(主宰代表)、泊原発の廃炉をめざす会(原告・原子力防災、核ゴミ問題担当世話人)、釧路地域連絡会(共同代表)ベクレルフリー北海道(代表)、脱原発をめざす北電株主の会(代表)、被災者支援ネットワーク釧路(事務局)、核ゴミ問題研究会(管理人)、泊原発稼働差し止め請求訴訟・大間原発訴訟・福島原発訴訟・原子炉メーカー訴訟・安保法制違憲道東訴訟(原告)チェルノブイリへのかけはし釧路(里親)、被爆二世(北海道被団協被爆二世プラスの会会員)

主催

泊原発の廃炉をめざす会

札幌市北区北8条西6丁目2-23-806 TEL 011-594-8454
月曜日・水曜日 10:00~13:00

Special Thanks:

立憲民主党 衆議院議員 逢坂誠二事務所 / マザーズフォーピース(Mothers for Peace) / 三輪 祐児(ユープラン) / 木村 結(東電株主代表訴訟) / 国際NGO La Ro Se Han / 全国脱原発運動株主交流会 / 脱原発をめざす北電株主の会

賛同団体・個人:

泊原発を再稼働させない・核ゴミを持ち込ませない北海道連絡会 / 核ゴミ問題研究会 / 深町 ひろみ(地方自治を考える市民の会) / 木村 雅英(経産省前脱原発テント行動) / 末田 一秀(核のごみキャンペーン関西) / 西尾 漠(はんげんぱつ新聞) / 西尾 正道(北海道がんセンター名誉院長) /